



日刊 日五十月七
日刊 日五十月七
日刊 日五十月七

国民保健運動に

栄養學的の調査

配給換食に貯蔵加工
一般の單純食から漁山村の
縣では國民体位向上のため諸般に亘る研究指導を行はれてゐるが、目下變更課が新計畫を定められたるものは、日常の營養に關するもので、七月一日から開始した平保健所と共に國民保健運動に際して、ことゝなつた從來の常用食は、一般に單純食であるものを海濱からは、昆布の如き廉價で營養の多い山地から

仲好い同志の兒童

二名が水に溺れる

玉川小學生歸校途上の水泳
一名だけ救はれ二名死亡
石城郡玉川村の富岡字藤原西丸精の孫同村小學校三年生良丸(一〇)同地藤原喜又次男小學校一年生善治(八)同一年生齊藤二男(八)三名は平生の仲好同志で、昨日午後二時頃、學校からの歸途、内藤原川橋下で水泳中、何れも深瀬にはまり、雨瀝きの急流に押流されて、浮きつ沈みつ苦しむ居るところを折柄通行の郡内内郷村の水漁夫白田發行(五五)が発見し、同時河中に飛び込み救助に力を盡したが、二男だけを助けたのみで、良丸と善治君は遂に溺死したが、善治君は人命救助死に表彰を平野署から縣に申請して表彰を平野署から縣に申請

小名濱商港の臨港道路

地區調査のため十日細井技手出張
商港の完成に伴ふ小名濱町は、日本水産工業の工場設置その他大小名濱建設の將來に關する諸準備中であるが、同町の臨港道路は、急遽に施行される管で、町本通りを横断する該道路の位置につき、縣土木課から来る十八日細井技手出張同町字元町及び仲町方面の實地調査を行ふと

護國の華

小川村出身勇士
星野高夫上等兵、石城郡下小川村の出身で、兩角部隊

平市參事會

平市では明十六日午前十時參事會を開かれる案件は、寄附採納と豫算の更正(公會堂發賣關係内容變更、青年學校費、百圓の不足を小學校費から流用するもの)及び中野勇吉氏から提出の訴願に對する縣參事會の採決が市參事會に於て決せらるるものと同じく、中野氏の訴願に關する報告もある由

滿州國の治安部で

日本人の巡長募集

資格は陸海軍下士官以下に
同等の青年訓練終了者
平職業紹介所に於て目下、韓治中の滿州國治安部鐵道警備隊の日本人巡長募集は、來る八月十日まで、縣隊司令部及び各地職業紹介所が志願書を受け付ける筈だが、右の應募資格は、年令二十歳以上三十二歳以下、陸海軍下士官以下のものにして、前記下士官と同等の資格を有する青年訓練所または青年學校の訓練を終了したるものとなつて居り、待遇は我が國の判任級で將來に相當立身の途がある志願者の考査は、八月二十六、七の二日間、仙仙隊司令部に於て行ふと

小學生の献金

石城郡湯本小學校尋常六年生
の二組一同は、廢物の賣上金五圓を村上有、高田稻實兩君代表で去る十三日國防献金す

百五十圓獻金

紺屋町の吉田氏
平市紺屋町吉田眼科醫院長吉田久雄氏は、今回市の軍事後援會へ金五十圓を寄附せる外、恤兵金百圓の献金を市役所に寄託した

内地より安いです

戦地 内地より安いです
ビールは卅錢です
(下) 平市仲間町出身 猪狩政友
日本人商店もあるので、不自由はありませぬ、南京、上海などに比すれば、高價ではありませぬが、ビール等は三十三錢です、カフエーなどは、四十錢位、由を聞きませぬ、内地よりも安く飲めるのです、新聞なども十日おくれ位のを見られます、吾々が軍も江を奥へへ、と進んで居ります、吾々も近日前進すること、存じます、今

敵の集結益々増加

戦雲漸く急を告ぐ
北支にある小生其の後ます、元寇で働いて居ります、御安心下さい、敵勢も益々増加、附近一帶の戦雲は益々急を告げて居ります、鳥合の衆何程のことでもあるまいが、油断はなりません、従つて軍務頗る多忙、疎忽たる旨最近戦友から通知され、家人及び近親は、佛前に燈香公月〇〇日

戦死の知らせ

石城郡江名町の作出身一等兵關根參次郎君は、徐州合戦に奮戦されて、敵弾に斃れたる旨最近戦友から通知され、家人及び近親は、佛前に燈香公月〇〇日

中支視察旅行記

駒木根忠三氏より
もう斯うなると誓死抗戦も「くそ」もなかつた全線に大動搖を來し、上海市或は南翔に蘇州河に向けて、算を亂して潰走したのであります、

時十月二十六日午後四時半、廿三日の攻撃開始以來僅かに三日にして、大場鎮に旭旗を翻すに至つたことは、誠に驚嘆すべき大戦果で、其の勇猛ぶりは全世界を驚倒せしめるに

重油節約座談

今日平野署に於て
縣では漁船で使ふ重油の消費節約に技術的指導のため、今日午前十時から平野會議室に、選三郎の關係漁船主並に船頭約六十名を招集し、縣から岩

妻よ何處へ

石川郡小山村の北方字東山
一八芳賀政勝方同居佐藤藤(三)妻なみ(五)は、夫との間に上げた子供二人を置き去り、本年二月二十三日石城郡澤渡村の市萱木村きん方へ年始めに行つて來ると出たき、行方不明となつたので、心當りを探した結果、その後なみは石城郡磐崎村小野田炭礦字梅ヶ平の古川要八方と同居の兄弟へ立寄りたる事實あり、石城地方の炭礦に潜伏してゐるらしいと前記夫から今日平野署に搜索方を願出た

山田小學校生徒 慰問費寄附

石城郡山田村小學校の富澤通學團生一同は、小使節約で相互に持ち集めた金一圓也を、軍慰問費に寄附した

藝妓銀紙を献納

平市新町藝妓福清方抱藝妓と子事野野やいさんは、丹念に貯めて置いた銀紙を、昨日四日國防費の中へ献納した

軍事後援へ寄附

平市仲間町出身海軍兵曹齋藤哲氏は、昨日十四日市の軍事後援會へ金十五圓を寄附した



熊澤隊が大場鎮の一角に十萬坪の農地を開墾して居るのを、見て参りました、半島人の青年一千人を連れて來て開墾して居ります、日本軍に食料供給に野菜を供給するが目的と云ふことで、現在在は十萬坪ですが、將來は幾らでも開墾出来る筈です、此處はもと、農地であつたのを熊澤隊に提供されたのだと云ふ話でありました、先づ一千人を五中隊に分け、先づ一千人を五中隊に分け、先づ一千人を五中隊に分ける、要するに軍隊の班に分ける、要するに軍隊の班に分ける、要するに軍隊の班に分ける、要するに軍隊の班に分ける、野菜は四季を通じて獲れる

農業

縣令で明示

害虫駆除法

(上) 稲と麥と桑園の

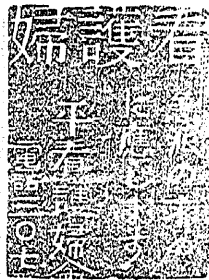
長野縣では縣令害虫駆除豫
防法施行規則を改正し主なる
害虫三十五種について驅除
豫防法を明示したが稻、麥作
並びに桑園関係のものは次の
如くである。

【稻作関係】 浮塵子：苗代
及び本田に水をなへて石
油を澆注し拂ひ落すべし。
除虫菊加用石油乳劑、除虫
菊石鹼合劑または除虫菊木
灰合劑を撒布すべし。二化
螟虫：成虫を捕虫網によつ
て捕獲すべし、卵塊を採取
すべし、苗代に於て産卵期
に煙草粉石灰合劑を撒布す
べし、幼虫の喰入せる莖を
切り取り焼却すべし。△稻包
虫：早春畦畔の雜草を燒却
すべし、水田に集まりたる
幼虫を捕殺すべし、幼虫の
發生期に砒酸鉛、砒酸石灰
または除虫菊木灰合劑を撒
布すべし。△稻苗腐敗病：種
子は浸種の前に硫酸銅液に
浸漬消毒すべし、石灰ボル
ドウ液を撒布すべし。△稻熱
病種子はフォルマリンに浸
漬消毒すべし、石灰ボルド
ウ液を撒布すべし、被害甚
だしき葉は切り取りて燒却
すべし、被害甚だしき根
及び葉は燒却しまたは速成
堆肥となすべし。△蝗虫類成
虫及び幼虫は捕殺すべく、
卵塊を採取し潰殺すべし。
【麥作関係】 麥の黑穗病：種
子は冷水温湯浸法、風呂湯
浸法、または硫酸銅液に浸
漬消毒すべし。

◇一般印刷物も
割引受致します
新しいわき新聞社
印刷部

牛も豚も優良品の自慢

肉の御 三三三屋 平市田町
用命は



正確 体温計
なる 寒暖計 (種各)
計量器指定販賣
平市五丁目角
山野邊藥局

お醤油はヤママル

醤油 味噌
たひら正宗
銚子産食料品

明治生命磐城代理店 山崎與三郎
電話 本営業部 二七〇番
本本店 二七〇番

山崎合名會社

内科、小兒科 平市田町 電話五一三番
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
高久病院
院長 醫學士 高久忠

根本 婦産科醫院
平市南町
根本 莊次郎
根本 貞雄
電話 三四番
(入院隨時)

便利で 日下家政婦會の
經濟な

派出婦を御利用下さいませ
身元確かて品行方正ですから
何をお任せしてもご安心です
平日田町十八(西村屋横町)
日下家政婦會
會長 日下すい子
電話 七二三番

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店 關内正一
電話 一六番
事務所 阿部助次郎

大河内
平市搔掛小路
整形外科醫院
電話 五八八番

レストラン
サロソ
食 事 喫 茶 酒場を兼ねた。
町田平 二五三電

夏の帽子 麥一文字ミ子供帽
パラソル 二重張ミ晴雨兼用傘
ツルヤ 平 一四〇

「看護見習募集」
明雲堂眼科醫院 (電話 六六九)
平田町 (三丁目裏川岸通)
入院應需 自炊の便あり

專 門 皮膚科 泌尿器科 性病科
診療時間 午前八時より 午後九時まで
醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話 六九一番
院 醫 尻 江

債券 公債 兩替 金融
多田井質店
平市大工町 電話 五九一番

西村屋藥局
國民精神總動員 日本國民必見の書
内閣情報部發行
寫真週報 1部 10 セン
お取次致して居ります
平 西村屋藥局 電話 二